

平成22年3月期 第2四半期決算短信（非連結）

平成21年11月6日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 大証第二部
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小田 博英
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名） 廣瀬 俊二 TEL (0774)44-4923
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第2四半期の業績（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

(1) 経営成績（累計）（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,936	5.9	196	10.4	193	5.3	75	2.3
21年3月期第2四半期	1,828	—	177	—	183	—	73	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	9 47	—
21年3月期第2四半期	9 25	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	5,098	4,233	83.0	532 63
21年3月期	5,417	4,255	78.6	535 43

（参考） 自己資本 22年3月期第2四半期 4,233百万円 21年3月期 4,255百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0 00	—	15 00	15 00
22年3月期	—	0 00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	17 00	17 00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無： 無

3. 平成22年3月期の業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	5,000	10.0	929	8.6	936	8.2	513	21.3	64 60	

（注）業績予想数値の当四半期における修正の有無： 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | | | |
| 22年3月期第2四半期 | 7,950,000株 | 21年3月期 | 7,950,000株 |
| ② 期末自己株式数 | | | |
| 22年3月期第2四半期 | 2,106株 | 21年3月期 | 2,106株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計期間） | | | |
| 22年3月期第2四半期 | 7,947,894株 | 21年3月期第2四半期 | 7,947,894株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項については、6ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、昨秋以降の急速な景気悪化の影響を受け厳しい状況が続き、企業業績は低迷を続けております。一部には景気底打ちや企業業績の回復という観測もありますが、企業経営に関してはまだ先行き楽観を許さない状況にあります。また、失業率が過去最高を記録するなど雇用情勢も不透明であり、企業経営を取り巻く環境は引き続き大変厳しい状況にあります。

美容業界におきましては、美容室間の顧客獲得競争が引き続き展開されるとともに、景気低迷の影響から顧客の来店サイクルの長期化や客単価の下落など、美容室経営にとって厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社では「美容室の繁栄」と「美容業界の近代化(改革)」という基本理念、そしてこれらを具体化した美容室への「コンサルティング・セールス」と「旬報店システム」が、現在のような経済情勢のときこそ求められ大きな力を発揮するものととらえております。具体的には、顧客に対する徹底した毛髪のカウンセリングの推進など、美容室の付加価値を高め美容室経営を安定化させるための提案を引き続き積極的に行ってまいりました。

当第2四半期累計期間におきましては、整髪料の新たなラインナップとして「フェアルシア」シリーズを発売いたしました。5月に投入したスプレー(5種類)は、ヘアスタイリングの最終段階で使用するアイテムで、その中でも特に「スプレー ソフト」については、「スタイリング・ファンデーション」をコンセプトとした新しいヘアスタイリングの提案がお客様からの高い支持をいただけました。また、8月に発売したワックス(4種類)については、個々の高い製品性能だけでなくスプレーと組み合わせて使用することにより求めるスタイリングを的確に実現できるとのコンセプトをもって、10月以降に本格的な拡販を図る計画です。分類別の売上高では、カラー剤とパーマ剤を除きすべて前年同四半期累計期間を上回って推移し、特に整髪料については48.0%の増加となりました。

また、京都本社にある工場の拡張のため6月に本社近隣の土地を取得いたしました。将来の成長をフォローできる生産体制を構築するため、今後、具体的な作業に着手する予定であります。なお、取得に要した資金はすべて自己資金であります。

費用につきましては、原油高及び生産量の増加を要因とした材料費、外注生産している新製品の外注費用等の増加により売上原価は前年同四半期累計期間に比べ9.1%増加いたしました。また、販売費及び一般管理費は、人員増加による人件費等が増加しておりますが、減価償却費負担の減少及びコスト意識の徹底により前年同四半期累計期間に比べ3.8%の増加にとどまりました。

特別損失には、当社金沢支店の土地及び建物に対する減損損失85,450千円を計上しております。

この結果、第2四半期累計期間における売上高は1,936百万円(前年同四半期比5.9%増)、営業利益は196百万円(前年同四半期比10.4%増)、経常利益は193百万円(前年同四半期比5.3%増)、四半期純利益は75百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。

分類別業績は次のとおりであります。

①トイレットリー

トイレットリー（シャンプー、トリートメント）は当社の主軸となる製品群であります。傷んだ毛髪の補修やダメージ予防に対する消費者の関心の高さ、一般品市場の高価格製品と美容室専売品との競争といった市場環境は大きく変化しておりません。

当社では主力の「コタ アイケア」シリーズ及び業務用トリートメント「コタ クオリア」等を中心に、美容室の来店客に対するヘアスタイル及びヘアケア等のカウンセリングの充実と徹底を通じて美容室の業績向上を目指しております。当第2四半期累計期間におきましては、美容室に対する「カウンセリングの提案」の推進を背景として実績を着実に伸ばすことができた結果、売上高は1,001百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

②整髪料

5月に発売した新製品「フェアルシア」のスプレーが整髪料の伸びに大きく貢献いたしました。「スタイリング・ファンデーション」という新しいヘアスタイルづくりの提案に高い支持をいただき、8月に発売した「フェアルシア」ワックスと合わせて、10月以降も引き続き拡販を進めてまいります。また、トリートメント効果のある洗い流さないタイプの「コタ キュアデュ」Tラインも堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は477百万円（前年同四半期比48.0%増）となりました。

③カラー剤

ヘアカラーのトレンドはファッションカラー市場は横ばい、グレイカラー市場は微増で推移していると見込んでおります。

当第2四半期累計期間は、昨年5月に投入した「グラフィカ」を中心に、ファッションカラー、グレイカラー双方の拡販に注力いたしましたが、新規取引先の開拓が計画を下回ったことや前事業年度の新発売の反動もあり当第2四半期累計期間の売上高は218百万円（前年同四半期比28.0%減）となりました。

④育毛剤

頭皮の改善に注目が集まると同時に、美容室でのスキャルプやヘッドスパといったメニュー展開も増加しております。「健康な髪は健康な頭皮から」という提案により、当第2四半期累計期間におきましては、頭皮のケアに特化したスキャルプ製品「コタ セラ」が堅調に推移し、売上高は75百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

⑤パーマ剤

パーマ市場は依然として縮小傾向にあり、当社にもその影響が現れている状況です。ウェブパーマ剤、ストレートパーマ剤とも美容師向けの講習会の開催や他の製品群と組み合わせたメニュー提案などを行っておりますが減少傾向に歯止めがかからず、当第2四半期累計期間の売上高は85百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

⑥商品・受取販売手数料

美容室で利用されるDM等の印刷物及び美容室店舗の移転や新規開店時の美容器具類の販売、集客システムの紹介手数料等であります。

当第2四半期累計期間の売上高は77百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末から318百万円減少し、5,098百万円となりました。

主な要因としては、たな卸資産225百万円、有形固定資産175百万円が増加した一方で、現金及び預金74百万円、売掛金390百万円、有価証券259百万円が減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末から296百万円減少し、865百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励引当金67百万円の増加及び納税による未払法人税等183百万円、未払金(その他流動負債)の減少204百万円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から22百万円減少し、4,233百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金43百万円の減少によるものであります。自己資本比率は、前事業年度末の78.6%から4.5ポイント上昇し、83.0%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より333百万円減少し、1,198百万円(前年同四半期比105百万円増)となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フローは、27百万円(前年同四半期は80百万円)となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益125百万円及び売上債権の減少373百万円などであり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加225百万円、法人税等の支払い274百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フローは、△242百万円(前年同四半期は△74百万円)となりました。

収入の主な要因としては、定期預金の払戻による収入100百万円などであり、支出の主な要因としては、有形固定資産の取得による支出326百万円などによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、△119百万円(前年同四半期は△110百万円)となりました。

これは、配当金の支払いによる支出であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	305,137	379,749
受取手形	37,096	19,721
売掛金	507,907	898,880
有価証券	893,372	1,152,698
商品及び製品	582,240	378,141
仕掛品	9,787	4,242
原材料及び貯蔵品	142,221	126,227
その他	104,164	75,826
貸倒引当金	△455	△600
流動資産合計	2,581,473	3,034,887
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	620,907	654,638
土地	1,117,266	901,739
その他(純額)	172,122	178,152
有形固定資産合計	1,910,295	1,734,530
無形固定資産	32,166	31,291
投資その他の資産		
投資有価証券	273,431	241,005
その他	301,129	375,706
投資その他の資産合計	574,560	616,711
固定資産合計	2,517,023	2,382,534
資産合計	5,098,496	5,417,421

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,281	87,735
未払法人税等	97,000	280,000
賞与引当金	68,889	61,981
役員賞与引当金	10,290	—
販売奨励引当金	73,065	5,114
その他	122,606	344,576
流動負債合計	469,132	779,407
固定負債		
役員退職慰労引当金	308,952	301,160
長期預り保証金	87,087	81,327
固定負債合計	396,039	382,487
負債合計	865,172	1,161,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,800	330,800
利益剰余金	3,502,921	3,546,908
自己株式	△1,115	△1,115
株主資本合計	4,220,406	4,264,392
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,917	△8,866
評価・換算差額等合計	12,917	△8,866
純資産合計	4,233,324	4,255,526
負債純資産合計	5,098,496	5,417,421

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	1,828,184	1,936,310
売上原価	498,586	544,055
売上総利益	1,329,598	1,392,255
販売費及び一般管理費	1,152,032	1,196,226
営業利益	177,565	196,029
営業外収益		
受取利息	591	670
有価証券利息	3,657	1,354
受取配当金	1,679	1,721
貸貸収入	—	1,495
その他	6,065	1,983
営業外収益合計	11,994	7,225
営業外費用		
投資有価証券売却損	—	3,555
たな卸資産廃棄損	4,541	3,475
貸貸費用	1,081	966
その他	164	1,750
営業外費用合計	5,787	9,747
経常利益	183,772	193,508
特別利益		
貸倒引当金戻入額	239	145
その他	—	17,436
特別利益合計	239	17,581
特別損失		
固定資産除却損	433	235
投資有価証券評価損	56,935	135
減損損失	—	85,450
その他	—	183
特別損失合計	57,368	86,004
税引前四半期純利益	126,643	125,085
法人税、住民税及び事業税	95,335	91,983
法人税等調整額	△42,246	△42,130
法人税等合計	53,088	49,853
四半期純利益	73,554	75,232

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	126,643	125,085
減価償却費	78,393	70,594
減損損失	—	85,450
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△239	△145
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,437	6,908
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	11,242	10,290
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	23,842	7,792
その他の引当金の増減額(△は減少)	66,246	67,951
受取利息及び受取配当金	△5,928	△3,746
投資有価証券売却損益(△は益)	—	3,555
売上債権の増減額(△は増加)	414,144	373,503
たな卸資産の増減額(△は増加)	△209,918	△225,638
仕入債務の増減額(△は減少)	666	9,545
その他	△189,202	△232,041
小計	323,325	299,104
利息及び配当金の受取額	5,928	3,746
法人税等の支払額	△248,535	△274,983
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,719	27,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
投資有価証券の取得による支出	△42,972	△100
投資有価証券の償還による収入	30,000	509
有形固定資産の取得による支出	△53,736	△326,021
その他	△8,040	△16,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,749	△242,362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△281	—
配当金の支払額	△110,655	△119,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,937	△119,443
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△104,967	△333,938
現金及び現金同等物の期首残高	1,197,637	1,532,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,092,669	1,198,509

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
トイレットリー	1,247,815	116.6
整髪料	771,787	188.2
カラー剤	133,913	28.0
育毛剤	95,599	138.6
パーマ剤	72,212	52.8
合計	2,321,327	107.2

(注) 上記金額は「生産本数×代理店納入価」により算出しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第2四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

区分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
商品	62,507	66.3
合計	62,507	66.3

(注) 1 上記金額は実際仕入額であり、消費税等は含まれておりません。

2 商品の主な内容は、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物のほか、美容器具、施術時に使用する小物品等であります。

(3) 外注実績

製品の製造において、一部を外注に依存しております。

当第2四半期累計期間における外注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
トイレットリー	3,840	134.9
整髪料	111,809	601.5
カラー剤	26,802	27.5
育毛剤	2,643	38.8
パーマ剤	15,593	114.4
合計	160,689	115.4

(注) 上記金額は外注加工費であり、消費税等は含まれておりません。

(4) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	区分	金額(千円)	前年同四半期比(%)
製品	トイレットリー	1,001,039	103.8
	整髪料	477,826	148.0
	カラー剤	218,990	72.0
	育毛剤	75,276	106.2
	パーマ剤	85,284	95.0
	小計	1,858,417	106.1
商品		71,541	97.3
受取販売手数料		6,351	219.6
	合計	1,936,310	105.9

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 総販売実績のうち輸出高は、13,152千円(総販売実績に占める割合0.7%)であります。
 3 総販売実績に対する売上高の割合が10%を超える販売先はありません。
 4 商品の主な内容は、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物のほか、美容器具、施術時に使用する小物品等であります。
 5 受取販売手数料は、美容室等の店舗増改築及び美容室専用の集客支援ソフト推進による業者等から受け取る紹介手数料等であります。